

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月11日

【四半期会計期間】 第94期第3四半期(自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)

【会社名】 大倉工業株式会社

【英訳名】 Okura Industrial Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高瀨 和則

【本店の所在の場所】 香川県丸亀市中津町1515番地

【電話番号】 丸亀0877(56)1111番(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役常務取締役 コーポレートセンター担当兼経理部長 豊田 員史

【最寄りの連絡場所】 東京都豊島区東池袋3丁目13番2号(東池袋ビル)

【電話番号】 東京03(6912)5041番(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員東京支店長 安部 昭男

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
大倉工業株式会社 東京支店  
(東京都豊島区東池袋3丁目13番2号(東池袋ビル))  
大倉工業株式会社 大阪支店  
(大阪市西区立売堀1丁目3番13号(第三富士ビル))

(注) 上記支店は金融商品取引法の規定に基づく備置場所ではありませんが、投資者の便宜のために備え置き縦覧に供するものであります。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第93期 第3四半期 連結累計期間	第94期 第3四半期 連結累計期間	第93期
会計期間		自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高	(百万円)	61,550	66,532	85,909
経常利益	(百万円)	1,259	1,407	2,389
四半期(当期)純利益	(百万円)	1,034	1,147	1,577
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	996	2,187	1,997
純資産額	(百万円)	33,210	35,651	34,008
総資産額	(百万円)	84,039	88,516	85,129
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	16.91	19.14	25.85
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	39.5	40.3	39.9

回次		第93期 第3四半期 連結会計期間	第94期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	7.40	7.15

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急経済対策関連予算の執行による公共投資の増加、円安の恩恵を受けた輸出回復と海外観光客の増加、株価回復などを背景とした好調な個人消費に加え、足元では消費税引き上げを睨んだ駆け込み需要もみられ、次第に回復の動きが広まってまいりました。

このような状況の下、当社グループは社会から信頼される企業であり続けながら、成長分野に対しては高度な加工技術と機能材料によるソリューションを提供できる技術優位な企業集団を目指すべく、「国内市場は量」、「海外市場は質」を基本方針とする中期経営計画（平成25年度から平成27年度）をスタートさせました。

この方針に則り、細やかな拡販努力を重ねた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は665億3千2百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。しかし、営業利益は、建材事業の赤字幅が大幅に縮小したものの、円安に伴う原材料価格の上昇や製品単価の下落などの影響が上回り、14億1百万円（前年同四半期比3.3%減）となりました。経常利益は円安による為替差益の計上などにより14億7百万円（前年同四半期比11.8%増）、四半期純利益は11億4千7百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 〔合成樹脂事業〕

産業資材用フィルムや農業向けマルチフィルムを中心に販売数量が増加したため、売上高は373億2千6百万円（前年同四半期比2.6%増）となりましたが、営業利益は原材料価格上昇分の転嫁が遅れ18億7千9百万円（前年同四半期比22.2%減）となりました。

#### 〔新規材料事業〕

スマートフォンやタブレット端末向け光学フィルムの販売数量が大幅に増加したため、売上高は206億8千2百万円（前年同四半期比21.4%増）となりましたが、営業利益は前年に敷いた増産体制による固定費の増加と製品単価下落の影響により9億3千1百万円（前年同四半期比27.0%減）となりました。

#### 〔建材事業〕

平成25年6月10日のJIS認証再取得以降、パーティクルボードの販売数量が徐々に回復したため、売上高は44億5千5百万円（前年同四半期比2.6%増）と増収に転じました。営業損失は、前期に計上したJIS認証取消しに伴う在庫処分などの一過性の損失がなくなったことに加え固定費の削減などに努めた結果、4億6千6百万円（前年同四半期比8億2千1百万円改善）となりました。

#### 〔その他〕

木材加工（プレカット）事業及び情報処理システム開発事業が順調に売上を伸ばしました。

この結果、売上高は40億6千8百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益は3億8百万円（前年同四半期比34.9%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に新たに生じた問題はありません。

なお、前事業年度の有価証券報告書に記載した当社グループが対処すべき課題のうち、「(1)建材事業の信頼回復と黒字化」については、全社を挙げて建材事業の品質保証体制の改革に取り組んだ結果、平成25年6月10日にパネェルボードのJIS認証を再取得いたしました。したがって、残る課題は、建材事業を早期に黒字化することです。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は8億2千8百万円です。

なお、当第3四半期連結累計期間において研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	140,108,000
計	140,108,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	62,074,351	62,074,351	東京証券取引所 (市場第一部)	(注)
計	62,074,351	62,074,351		

(注) 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		62,074		8,619		9,068

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日である平成25年6月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,069,000		単元株式数 1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 59,328,000	59,328	同上
単元未満株式	普通株式 677,351		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	62,074,351		
総株主の議決権		59,328	

(注) 単元未満株式数には、当社保有の自己株式791株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
大倉工業株式会社	香川県丸亀市中津町 1515番地	2,069,000		2,069,000	3.33
計		2,069,000		2,069,000	3.33

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,440	7,052
受取手形及び売掛金	25,290	25,769
商品及び製品	4,315	4,815
仕掛品	784	979
原材料及び貯蔵品	3,132	3,434
販売用不動産	109	250
繰延税金資産	585	545
その他	645	739
貸倒引当金	20	19
流動資産合計	42,284	43,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,142	16,697
機械装置及び運搬具(純額)	9,351	8,755
土地	6,813	6,619
建設仮勘定	1,420	3,327
その他(純額)	658	615
有形固定資産合計	35,385	36,015
無形固定資産	185	209
投資その他の資産		
投資有価証券	5,801	7,275
繰延税金資産	116	79
その他	1,400	1,397
貸倒引当金	43	27
投資その他の資産合計	7,275	8,724
固定資産合計	42,845	44,949
資産合計	85,129	88,516



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,701	19,847
短期借入金	7,675	8,065
1年内返済予定の長期借入金	2,477	2,420
リース債務	673	697
未払法人税等	203	44
設備関係支払手形	127	238
賞与引当金	-	570
建物等除却損失引当金	16	13
その他	6,800	6,343
流動負債合計	36,674	38,241
固定負債		
長期借入金	8,643	8,949
リース債務	1,976	1,479
繰延税金負債	14	502
退職給付引当金	2,599	2,610
役員退職慰労引当金	297	-
その他	915	1,080
固定負債合計	14,446	14,623
負債合計	51,121	52,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	16,343	17,129
自己株式	632	814
株主資本合計	33,398	34,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	609	1,648
その他の包括利益累計額合計	609	1,648
純資産合計	34,008	35,651
負債純資産合計	85,129	88,516

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	61,550	66,532
売上原価	53,124	58,513
売上総利益	8,425	8,018
販売費及び一般管理費		
販売手数料	78	86
運送費及び保管費	1,784	1,812
給料	1,568	1,543
賞与	263	182
賞与引当金繰入額	168	154
役員報酬	206	226
退職給付費用	122	117
役員退職慰労引当金繰入額	38	9
減価償却費	99	92
研究開発費	778	828
貸倒引当金繰入額	24	0
その他	1,891	1,562
販売費及び一般管理費合計	6,975	6,616
営業利益	1,449	1,401
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	64	62
為替差益	10	121
雑収入	99	106
営業外収益合計	178	294
営業外費用		
支払利息	312	261
債権売却損	26	5
雑損失	29	21
営業外費用合計	368	287
経常利益	1,259	1,407
特別利益		
固定資産売却益	3	38
投資有価証券売却益	-	54
特別利益合計	3	92
特別損失		
固定資産除売却損	29	57
投資有価証券売却損	-	9
投資有価証券評価損	113	-
建物等除却損失引当金繰入額	-	13
特別損失合計	142	81
税金等調整前四半期純利益	1,120	1,419
法人税、住民税及び事業税	253	215
法人税等調整額	167	56
法人税等合計	85	271
少数株主損益調整前四半期純利益	1,034	1,147

四半期純利益

---

1,034

---

1,147

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,034	1,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	1,039
その他の包括利益合計	37	1,039
四半期包括利益	996	2,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	996	2,187
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
<p>(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)</p> <p>当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。</p> <p>これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ50百万円増加しております。</p>

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
<p>(賞与引当金)</p> <p>当第3四半期連結累計期間においては、従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当第3四半期連結累計期間に属する額を賞与引当金として計上しております。</p> <p>なお、前連結会計年度においては、前連結会計年度に属する従業員への賞与支払額は確定しており、かつその全額を前連結会計年度末までに支給しているため賞与引当金は計上しておりません。</p>
<p>(役員退職慰労引当金)</p> <p>当社は、役員の退職慰労金の支給に充てるため、役員退職慰労引当金を計上してありましたが、平成25年3月26日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度を廃止し、同制度廃止までの在任期間に対応する退職慰労金を、当社所定の基準による相当額の範囲内において打ち切り支給することとし、支給時期はそれぞれの退任時とすることが決議されました。</p> <p>これに伴い、第1四半期連結会計期間において、役員退職慰労引当金を全額取崩し、打ち切り支給に伴う未払額162百万円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
中讃ケーブルビジョン(株)	274 百万円	中讃ケーブルビジョン(株)	271 百万円
外商合資無錫大倉包装材料有限公司	95 "	外商合資無錫大倉包装材料有限公司	107 "
計	369 百万円		378 百万円

2 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形割引高	2,418 百万円	百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
減価償却費	3,384 百万円	3,132 百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月23日 定時株主総会	普通株式	306	5.00	平成23年12月31日	平成24年3月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月26日 定時株主総会	普通株式	361	6.00	平成24年12月31日	平成25年3月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,375	17,040	4,343	57,760	3,790	61,550		61,550
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2			2	371	373	373	
計	36,378	17,040	4,343	57,762	4,161	61,924	373	61,550
セグメント利益又は セグメント損失( )	2,415	1,275	1,287	2,403	228	2,632	1,182	1,449

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 1,182百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,182百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,326	20,682	4,455	62,463	4,068	66,532		66,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2			2	392	395	395	
計	37,328	20,682	4,455	62,466	4,460	66,927	395	66,532
セグメント利益又は セグメント損失( )	1,879	931	466	2,344	308	2,653	1,251	1,401

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 1,251百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,251百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「合成樹脂事業」で24百万円、「新規材料事業」で18百万円、「その他」で0百万円増加し、セグメント損失が「建材事業」で1百万円、「調整額」で4百万円減少しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16.91円	19.14円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,034	1,147
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,034	1,147
普通株式の期中平均株式数(千株)	61,194	59,974

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

大倉工業株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中 田	明 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小 山	謙 司 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	久 保	誉 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大倉工業株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大倉工業株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。